

令和7年第10回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		141		令和7年度大山町一般会計補正予算(第9号)									
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)							
款	10	総務費		項	5	総務管理費		目	6	企画費			
事業番号		1282		事業名		地域おこし協力隊起業支援事業							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		地域おこし協力隊の任期最終年次から任期終了後1年以内にある者				総合計画における位置づけ						
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域おこし協力隊を卒業後に起業するための経費を補助することで、無理なく卒業後のスタートが切れ、大山町への定住にも繋がる。				13 若者がはたらきたくなる会社や仕事を増やそう						
							「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ						
							経済と産業の発展						
							根拠法令・要綱等						
						大山町地域おこし協力隊等期限支援補助金交付要綱							
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳									
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
0		2,000										2,000	
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳							
<p>【目的】</p> <p>地域おこし協力隊の本町内での起業を促進、支援するための補助金で本町への定住及び町の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>本年度末で退任の2名が、着実に地域に定着できるよう任期中に設備を整えるために補助金を交付する。</p> <p>上限1,000千円×2人分＝2,000千円</p> <p>【協力隊の起業内容】</p> <p>〈空き家活用部門〉</p> <p>協力隊の活動を通じ、空き家問題の実情や残置物の整理への物理的・精神的負担を、自分が古物商として空き家を活用して起業することで、空き家や地域全体の活性化に繋げていく。</p> <p>〈情報発信部門〉</p> <p>任期中は食による情報発信を行った。退任後は食によって豊かな社会を創造することができる人材を育成する。(キッチンスタジオ)</p> <p>※財源は特別交付税措置</p> <p>(財源内訳の詳細 単位:千円)</p>						<p>負担金補助及び交付金</p> <p>補助金及び交付金 2,000千円</p>							
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額		補正額		補助(充当)率		交付税措置率			

令和7年第10回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		141		令和7年度大山町一般会計補正予算(第9号)									
(提案理由 及び 議案概要)								(単位:千円)					
款	10 総務費		項	5 総務管理費		目	10 交通安全対策費						
事業番号		31		事業名		交通安全対策費(一般)							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		運転免許自主返納者			総合計画における位置づけ							
						27 移動も共有して安心安全な交通環境を実現しよう							
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		運転免許自主返納者に対する支援を行うことで、運転免許自主返納を促進し、交通事故の減少を図る。			「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ							
						安心で快適なまちづくり							
						根拠法令・要綱等							
							大山町運転免許自主返納支援事業実施要綱						
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳									
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
4,741		30										30	
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳							
<p>【補正理由】</p> <p>運転免許証自主返納支援者数が当初の見込みを上回る見込みであるため補正を行う。</p> <p>($\text{R7見込み} > 45人 - \text{当初} > 35人 \times 3千円 = 30千円$)</p> <p>【事業概要】</p> <p>運転免許証自主返納者に対する支援としてデマンドバスの回数券の交付(1人当たり3千円)を行う。</p>						報償費							
						運転免許証自主返納支援事業記念品 30千円							
(財源内訳の詳細 単位:千円)													
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額		補正額		補助(充当)率		交付税措置率			

令和7年第10回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		141		令和7年度大山町一般会計補正予算(第9号)							
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)					
款	10	総務費	項	5	総務管理費	目	11	公共交通対策費			
事業番号		1439		事業名		タクシー助成事業					
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		高齢者及び一般の交通機関を利用することが困難な障がい者等			総合計画における位置づけ					
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		買い物や通院等を自分で行うことにより、自らが外出できる機会を得て住み慣れた地域社会で自立した生活が送れるよう支援する。			27 移動も共有して安心安全な交通環境を実現しよう					
						「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ					
						安心で快適なまちづくり					
						根拠法令・要綱等					
大山町タクシー助成制度実施要綱											
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳							
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
3,052		445			222			223			
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳					
【補正理由】 新規の利用者が当初の見込みを上回ったため R6年度年間 新規98人 R7年度4月から9月 新規70人 ○消耗品費・・・登録証に用いるカードおよびケース ○通信運搬費・・・次年度利用者の登録証郵送料(3月発送) (＜R7見込み＞550人－＜当初＞400人)×110円 ≒ 17千円 ○委託料・・・助成費 (＜R7見込み＞285千円－＜当初＞250千円)×12ヶ月 = 420千円 【事業概要】 高齢者及び一般の公共交通機関を利用することが困難な障がい者等のタクシー料金の一部を週に1回助成する。 ＜助成範囲＞ 町内、鳥取県中部・西部の医療機関 ＜助成内容＞ 料金の2分の1						需用費					
						消耗品費		8千円			
						役務費					
						通信運搬費		17千円			
						委託料					
						委託料		420千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)											
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額		補正額		補助(充当)率		交付税措置率	
60-10-10-5-80		市町村創生交付金		1,526		222		1/2			

令和7年第10回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		141		令和7年度大山町一般会計補正予算(第9号)			
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)	
款	10	総務費		項	5	総務管理費	
目					12	総務施設管理費	
事業番号		35		事業名		フォーラム管理事業	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		ふるさとフォーラム利用者			総合計画における位置づけ	
						32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう	
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		ふるさとフォーラム利用者が快適に施設を利用できるよう維持管理する。			「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ	
						安心で快適なまちづくり	
						根拠法令・要綱等	
					大山町立ふるさとフォーラムなかやま条例		
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳			
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他
491		184					184
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳			
四季彩園のベンチが老朽化しているため買い替える必要がある。3人用ベンチ6台を購入する費用を補正する。 27,800円×6台×1.1＝183,400円 《財源》 健康増進や高齢者等支援に活用する目的で寄付があったものを活用する。				備品購入費 184千円			
(財源内訳の詳細 単位:千円)							
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額	補正額	補助(充当)率	交付税措置率

令和7年第10回定例会

議案説明資料

提出課：まちづくり課

議案番号		141		令和7年度大山町一般会計補正予算(第9号)															
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)													
款	10	総務費		項	5	総務管理費													
目					12	総務施設管理費													
事業番号		37		事業名		生活想像館・温泉館管理事業													
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		施設利用者			総合計画における位置づけ													
						32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう													
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		施設利用者が安心して快適に施設利用ができるよう指定管理者を通じて適切な施設管理を行う。			「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ													
						安心して快適なまちづくり													
						根拠法令・要綱等													
				大山町中山温泉館及び生活想像館条例/大山町中山温泉館及び生活想像館規則															
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳															
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他												
103,929		5,000					5,000												
補正理由・事業概要				今回補正額の経費内訳															
【補正理由】 エネルギー価格(燃料費・光熱水費)が高騰した状態が継続しており、指定管理者の営業努力だけでは収支の改善を図ることが困難な状況にあるため、エネルギー価格の高騰分を補う必要がある。				委託料															
【補正内容】 R4～R8年度分指定管理料の積算時(R3年度の単価で積算)の年間燃料費、光熱水費の見込みと比較し、令和7年度見込みとの差額を追加分の委託費用として計上する。				指定管理委託料 (エネルギー価格高騰分) 2,500千円															
				繰出金															
				温泉事業特別会計繰出金 2,500千円															
<table><tr><td></td><td>燃料費</td><td>光熱水費</td></tr><tr><td>R3時点</td><td>5,200,000</td><td>14,300,000</td></tr><tr><td>R7見込み</td><td>6,800,000</td><td>17,700,000</td></tr><tr><td>差額</td><td>△ 1,600,000</td><td>△ 3,400,000</td></tr></table>					燃料費	光熱水費	R3時点	5,200,000	14,300,000	R7見込み	6,800,000	17,700,000	差額	△ 1,600,000	△ 3,400,000				
	燃料費	光熱水費																	
R3時点	5,200,000	14,300,000																	
R7見込み	6,800,000	17,700,000																	
差額	△ 1,600,000	△ 3,400,000																	
燃料費と光熱水費合計500万円を追加の委託料として支払う。 (温泉会計と一般会計で各250万円計上。一般会計から温泉会計へ250万円繰り出しを行う)																			
(財源内訳の詳細 単位:千円)																			
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額	補正額	補助(充当)率	交付税措置率												

議案番号		141		令和7年度大山町一般会計補正予算(第9号)									
(提案理由 及び 議案概要)								(単位:千円)					
款		50 教育費		項		20 社会教育費		目		1 社会教育総務費			
事業番号		1208		事業名		集落支援員活用事業							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		地域自主組織(大山公民館大山分館)					総合計画における位置づけ					
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域自主組織の支援並びに地域自主組織と公民館の連携を強化するために集落支援員を配置し、大山農村環境改善センター長を兼任して地域活動を展開している。					32 地域の思いや力を発揮できる環境をつくろう					
								「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ					
								安心で快適なまちづくり					
								根拠法令・要綱等					
							大山町地域力強化人材育成アクション実施要綱						
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳									
				国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
3,990		50										50	
補正理由・事業概要								今回補正額の経費内訳					
全国過疎シンポジウムの準備等の対応のため勤務時間が例年より増えたため、今後の予算が不足することにより補正を行う。								報酬 パートタイム会計年度任用職員時間外勤務手当 50千円					
(財源内訳の詳細 単位:千円)													
款-項-目-節-細節		説明名称		補正前の額		補正額		補助(充当)率		交付税措置率			

議案番号		141	令和7年度大山町一般会計補正予算(第9号)					
(提案理由 及び 議案概要)						(単位:千円)		
款	30	農林水産業費	項	5	農業費	目	6	農業施設運営費
事業番号		226	事業名		大山農村環境改善センター運営費			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		地域住民			総合計画における位置づけ		
						08 公民館や図書館をもっと活用しよう		
	意図・成果 (対象をどのような状態にしたいのか)		大山農村環境改善センターの維持管理および利便性向上を図り、地域住民の利用しやすい施設管理を行う			「大山町魅力向上の5本柱」における位置づけ		
						安心して快適なまちづくり		
						根拠法令・要綱等		
大山町大山農村環境改善センター条例 大山町大山農村環境改善センター規則								
補正前		今回補正額		今回補正額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,652		700						700
補正理由・事業概要						今回補正額の経費内訳		
○時間外勤務手当 全国過疎シンポジウムの準備等の対応のため勤務時間が例年より増えたため、今後の予算が不足することにより補正を行う。 ○燃料費 空調用ペレット・ガスの価格上昇により、今後の燃料費が不足する見込みのため補正を行う。 〈当初予算〉 〈実績見込〉 〈不足額〉 1,590千円 - 2,240千円 = △650千円						職員手当等		
						フルタイム会計年度任用職員職員時間外勤務手当		